

令和6年度第1回清流長良川あゆパーク指定管理者評価員会議 結果概要

- 日 時：令和6年8月30日（金）13時30分～15時30分
- 場 所：清流長良川あゆパーク 研修室

1 評価の手順について

- ・県より評価手順について説明

2 評価員会議による評価結果

(1) 評価方法

- ・評価員による現地調査及び指定管理者からの報告を受け、評価項目ごとに評価員が採点
- ・県にて集計し、平均点を算出

(2) 評価結果

評価項目	平均点
1 管理基準の充足状況	3.8
2 設置目的の達成状況	4
3 公共性の確保の状況	3.8
4 経営状況	4
5 派生的効果	4

<主な評価意見>

(施設について)

- ・着実に利用者数が増えてきており、施設の設置目的の効果に加えて、岐阜県及び世界農業遺産をPRする施設として存在価値が高まっており評価できる。
- ・前年に比べ来場者数が伸びてきており、駐車場等の受入体制を徐々に充実されたい。

(体験プログラムについて)

- ・施設の認知度が少しずつ向上しており評価できるが、実施する内容に慣れが生じており、そろそろ再構築する段階にきている。
- ・オープンから6年が経ち、教育としての部分を再度考え始める時期にきている。
- ・学習講座、見学、食体験が体系的に組み込まれた学習プログラムを作ると良い。
- ・世界農業遺産「清流長良川の鮎」講座の県外団体向けの料金について、高すぎるのではないかと。時間を短くしても良いので、低料金で座って学習できる講座を作ると良い。
- ・県の施設として、外来種のニジマスを気軽な生き物としてマス釣り体験に扱うのは不

適切である。アマゴや鮎など他の魚での体験を検討されたい。

- ・冬の期間の企画事業について検討されたい。

(体験料金について)

- ・愛知県からは、川の上流域、溪流に涼を求めて多くの人々が来場している。都市部の人々から自然体験が求められているので、県内学校団体向けと県内外の一般利用客の料金を差別化し、高品質のサービスは高い料金で提供して良いと考える。

(アンケートについて)

- ・利用者からの施設利用に関する意見をもっと吸い上げる工夫(アンケートの質問内容を工夫)を行うと良い。
- ・アンケートの否定的な意見もしっかり受け止めて、施設改善に活かしていくと良い。

(施設のPRについて)

- ・中部縦貫自動車道が整備され、今後北陸へのアクセスが良くなるので、北陸県へのPRを強化されたい。
- ・SDGsの取組については県が推進しており、早急にSDGsの番号やロゴマークをパンフレットに掲載することを検討し、SDGsの取組をアピールされたい。